

ふれあい

2017

3

No.360

牛久愛和総合病院 広報誌



『犬の散歩にて』 撮影：医事企画部 吉川 和美

ガンに対する夢の新薬、「オプジーボ」とは？

総合診療科 本多 伸一郎



「オプジーボ」(一般名ニボルマブ)という薬をご存じでしょうか？ 昨年から、ガンに対する劇的な効果や、その高額な薬価などで話題になっている新薬です。今回は「オプジーボ」がガンに効く仕組みをお話したいと思います。

私達は「免疫」という素晴らしい仕組みを備えています。免疫は、私達の体内に侵入する様々な細菌やウイルスなどの病原体を排除し、疫病から免れるための防御機構です。実は30年ほど前から、免疫は病原体だけでなくガンの排除も行う可能性が示されており、ガンの治療に応用しようと試みられてきました。以前、この欄の「ワクチンの仕組みとは？」(ふれあい2015年2月号)でも御紹介した様に、

ワクチンによって病原体を排除する免疫細胞を増やすことが可能ですが、ガンに対してもワクチンが行えれば、ガンの治療法となることが期待されます。しかしながら、ガンに対するワクチンを作ることは非常に困難で、今のところ大きな成果を収めていないのが実情です。

免疫は体内へ病原体が侵入することをきつかけにしてアクセルが踏み込まれますが、病原体を排除した後は自然に収まってしまうと考えられてきました。しかし近年、免疫細胞の表面に、その細胞の働きを抑えるブレーキがあることや、抑制性細胞と呼ばれるブレーキ役の細胞が存在することが分かってきました。さらに驚くべきことに、ガン患者の免疫細胞はブレーキがかかりっぱなしで、元気をなくした状態になっていることが明らかになったのです。そこで、このブレーキを外せば免疫細胞が復活してガンを破壊するのではないかと、という発想から薬が開発されるようになりました。このような薬は、

免疫チェックポイント阻害薬、

と呼ばれています。本題の「オプジーボ」は、ガンを破壊する能力の高い、キラーT細胞の表面にあるブレーキに結合し、ブレーキが効かないようにする薬なのです。「オプジーボ」は全てのガンに効果があるわけではない様ですが、治療を受けた方の中にはガンが完全になくなってしまいう例も報告されています。「オプジーボ」はブレーキを外すという、逆転の発想から生まれた画期的な薬なのです。

一方、「オプジーボ」はとても高額であり、近年叫ばれている医療費抑制の観点からは非常に悩ましい薬です。今後も、免疫チェックポイント阻害薬の発売が予想されており、ガン治療にかかる医療費が爆発的に増加することが懸念されています。日本人の二人に一人は生涯のうちに何らかのガンになる確率があると言われていますが、ガン患者が安心して最善の治療を受けられるような未来にするために、我々一人一人が国の医療費のあり方について真剣に考えなければならぬ時代が来たのかも知れません。

第61回 生活習慣病教室

「耳からくるめまいについて」

■日 時…平成29年1月26日(木) 14時半～15時半
 ■場 所…牛久愛和総合病院 B館2階大ホール
 ■講 師…耳鼻咽喉科 部長 伊藤 昭彦 医師

◆めまいとは

周囲のものが停止しているのに、色々な方向に動いて見えたり、まっすぐ立とうとしても立てない状態。自身は動いていないのに、周囲が動いて見えたりする異常状態と定義されています。とても身近な病気ですが、何の病気を判断するのは非常に難しいです。

発症の大きな原因は、脳の病気、全身の病気、耳の病気の3つに分けられます。中でも耳の病気が最も多く、8割を占めます。

また、人間は手足の感覚、内耳の情報、視覚の情報を脳で統合し、目や体の筋肉に信号を送ることによって、自動的にバランスを取っています。その為、これらの機能が上手く働かないとめまいが起きてしまいます。

◆めまいの受診科

めまいの他に、耳鳴りや耳



が詰まった感じがする等、耳の症状がある際は、まず耳鼻科を受診しましょう。意識が遠のいたり、物が二つに見える、ろれつが回らない等の神経症状が見られる場合は、神経内科や脳外科が主になります。

しかし、患者さんには区別が難しいところもあるでしょう。そのような場合、めまいにはいろいろな病気があるので、どこの科を受診しても構いません。検査の後、適切な科へご案内します。

◆耳からくるめまいを起す病気

〈良性発作性頭位めまい症〉

頭を動かすとめまいがする病気です。症状は一過性の為、数秒から1～2分で治ります。起き上がる時や寝返りを打つ際に起こります。長時間寝ている場合や頭をぶつけた後、手術後にも起こることがあります。

【原因】

三半規管の管の中にある石が剥がれ落ち、動き回るため

〈メニエール病〉

頭の動作に関係なく、ずっと回転性のめまいが起こる病気です。前兆として耳鳴りや難聴が現れます。また、30分以上めまいが続きます。

【原因】

内耳が腫れること ※腫れる原因はわかっていない

【罹りやすい人】

30～50代の女性、肥満体よ

りも健康体の方、神経質、完璧主義、精神的かつ肉体的に疲労を感じている方、睡眠不足、不規則な生活

3 運動

ふらつきや転倒は、脳や内耳の不調で起きるだけでなく、足腰の筋肉が弱ることも原因になります。その為、ウォーキング等で足腰を鍛えることで脳や内耳を刺激し、同時に老化予防にも繋がります。

◆めまいの予防と理学的治療

1 日常生活の改善

規則正しい生活やストレスを溜めないよう心掛けましょう。

2 血圧のコントロール

血圧が低い方はめまいが起りやすいと言われています。また、高血圧の方でも薬によって下がり過ぎてしまった時に起きることがあるので、きちんと管理することが大切です。

4 めまいのリハビリ

小脳を鍛えることで、めまいが起きても早く改善できたり、めまいを起こしにくくさせる、重症化を防いでくれる等の効果があります。そして、鍛えることで、めまいはなくなり、早く回復させるには、最も効果的です。

めまいを抑えるリハビリとして以下のようなものがあります。

〈目の横運動〉

- ①両腕を前に伸ばし、左右の間隔を30cm程あける
- ②親指を立てて手を握り、顔



と腕は動かさずに、左右の親指の爪を交互に見る

*この動きを20回ほど繰り返す

その他にも、両腕を前方上下に伸ばし、同様に目だけを上下に動かす運動や、片腕を左右に動かし、それを目で追う等。

普段運動ができない方でも、手軽に家の中でできるので、やってみてはいかがでしょう。

糖尿病教室の お知らせ

4月12日(水)

糖尿病について (尾本医師)

4月19日(水)

糖尿病患者さんのための
フットケアのすすめ

4月26日(水)

お弁当あれこれ

◆時間…14時30分

◆場所…C館1階からだ情報館

事前予約不要、参加無料です。

興味のある方、ぜひお気軽にご参加ください。

春秋園だより

桜前線の待ち遠しい今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、入所4階フロアでは先日、調理レクリエーションの一環と致しまして、「クリームあんみつ」作りを行いました。まず午前中に、固まるまで時間の掛かる寒天を作り、午後から白玉作りを始めました。白桃を食べやすい大きさに切る等して、最後に出来上がった寒天や白玉の上にあんこや白桃、バナナアイスや生クリームをそれぞれトッピングして完成です。

利用者様との共同作業により完成する為、まずは利用者様一人一人のお部屋へ赴いてご協力をお願いするのですが、普段からレクリエーションに参加している方でも、「食べられるの？行きます。」と、ご協力して頂く事が出来ました。



「クリームあんみつ」を皆様と一緒に作る間、ある方は白桃を包丁で上手に切り分け、またある方は白玉粉を力一杯手を使って練る等、真剣に且つ丁寧に行って頂きました。そして、出来上がった「クリームあんみつ」を皆様と一緒に頂きましたが、余程美味しかったのか、あつという間に食べ終わってしまった方もいました。「ごちそうさまでした！」と皆様笑顔で召し上がって頂いた後は、昔どんなおやつを食べていたのか等の話に花が咲きました。

方々ももちろん、いつもはあまり参加して頂けていない方でも、「食べられるの？行きます。」と、ご協力して頂く事が出来ました。



今後も、利用者様が楽しく快適な日々を送れるよう、スタッフ一同で切磋琢磨して行きたいと思えます。
(春秋園入所スタッフ一同)

部 署 紹 介

生理検査室

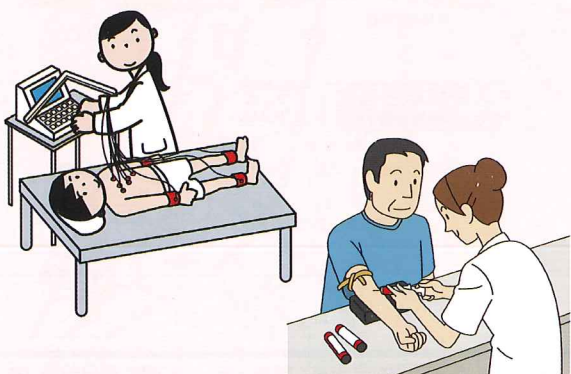
主任 花 明子

日ごとに春の訪れを感じるようになり、桜の花が待ち遠しいですね。生理検査室と聞いてもあまり皆さんには馴染みのない部署名ではないでしょうか。B館1階に位置し、臨床検査技師という18名の国家資格を持つスタッフが、医師の指示のもと、外来・入院患者さんのレントゲンやCTなどの放射線を使用する機器以外で行う検査をしています。

患者さんとコミュニケーションを取りながら業務をすることを心掛け、信頼される生理検査室を日々目指しています。お気軽にお声がけください。

生理検査室では、心電図・肺活量・脳波などをはじめとした患者さんの身体に直接触れてデータを記録する生理学機能検査、心臓・腹部・乳腺・甲状腺・血管などの超音波検査も行っています。

私たち臨床検査技師は、生理検査室以外でも外来採血室で採血を行い、耳鼻科外来で聴力検査をし、健診センターでも検査を行っています。時には看護師など医療スタッフとの連携を取りながら、救急センター！



《出来事ピックアップ》

医療ガス講習会

12/8

昨年12月8日、講師に岩谷産業(株)森氏をお招きし、『医療ガスの安全な取扱い方と災害対策』について、講習会を行いました。今回病院職員360人集まり、今までの医療ガス講習会の中では、過去最高の参加人数となりました。医療ガスは、正しい取り扱いをしないと大きな医療事故につながりますので、医療ガスの正しい管理を改めて認識ができた講習会となりました。(医療ガス委員会)

豆まき

2/3

2月3日(金)は節分です。年長児は朝から鬼を迎える準備をしながら節分の由来を聞きました。豆は炒って福豆にしました。いわしを焼くと園中その臭いになりました。いわしを食べ、口もいわしの



編集だより

寒さもひと段落し、徐々に春の訪れを感じられる今日この頃です。暖かくなると花粉にも悩まされますね。まだまだ寒暖の差もありますので体調管理に気をつけましょう。(S・F)



臭いになり、これで鬼に勝ると自信をつけました。神棚へのお供えが終わると鬼が太鼓を叩きながらやってきました。鬼との約束に大きな声で返事をし、「鬼は外、福は内」と一番に院長先生が豆をまきました。みんな豆をまき一年の無病息災を願いました。(福田)

病院理念

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床 (一般391床 医療療養型55床 地域包括ケア43床)

施設

敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1151台



診療科目

【一般外来】

総合診療科(内科)、消化器内科、糖尿病・代謝内科、循環器科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、小児科、総合外科、救急科、甲状腺・内分泌外科、乳腺科、消化器外科、内視鏡科、形成外科、整形外科、産婦人科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、歯科口腔外科、透析外来(シャント外来)、禁煙外来

【専門外来】

整形外科(股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節)
小児科(小児循環器、小児心理)
循環器科(心臓血管外科)
皮膚科(レーザー)
外科(そけいヘルニア)
形成外科(下肢静脈瘤)

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会



牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター

Tel 029-873-4334

健康増進施設 スポーツリラックス

Tel 029-874-8791

介護老人保健施設 春秋園

Tel 029-870-3100

